

固く守った信念の先に



長年にわたり郵政事業(郵便・貯金・保険の三事業)に従事し、その発展や地域社会への貢献が顕著であったことが認められ、瑞宝双光章を受章した西谷進さん(船見)が2月5日(木)に川地憲元町長を訪問し、その報告をしました。

西谷さんは「郵便局に就職し、仕事をするうちに、保険を扱う仕事がしたいと思い、志願して部署を異動しました。それから精一杯仕事をし、指導する立場となりましたが、指導した職員が成績優秀で表彰されたときの喜びは格別でした。保険の仕組みについて考え、加入しているすべての人を幸せにするものでなければならないという信念のもと、取り組んできた郵便局員人生でした」とこれまでを振り返りました。

それぞれの家族と愛のカタチ



1月18日(日)に町中央公民館 中ホールにて「親孝行と生涯学習を進めるまち養老」推進会議推進大会と「家族の絆 愛の詩」発表会が開催されました。地域住民の生活や文化の向上に長年にわたって尽力いただいた人および団体を表彰した後、「家族の絆 愛の詩」の入賞作品の朗読が行われました。

今年も全国から多くの「家族の絆」を感じられる作品が寄せられ、一般の部は、子に帰る母親を否定せず、心を鎮めて寄り添う心情が描写された目加田良一さんの「飛ぶ水筒」が、小中学生の部は、パンは苦手だけど、クリームパンのような妹の手は愛おしくてたまらないという気持ちをつづった栗野天夢さんの「妹のクリームパン」がそれぞれ最優秀賞に選ばれました。

まちを盛り上げる“特産品”



2月9日(月)に有限会社ライフ(江月)の養老産ケリ米つや姫とパティスリー暦(船附)のひょうたんサブレの2品目が新たに「養老町特産ブランド認証品」として追加されました。養老産ケリ米つや姫は、チドリ科の鳥類であるケリが生息している田園で作られた、少し小粒で旨み強い「つや姫」という品種のお米です。ひょうたんサブレは、玉泉堂酒造株式会社のウイスキーを使用した、風味豊かでひょうたんの形をしたかわいらしいサブレです。

「養老町特産ブランド認証品」は2015年度に制度が創設されて以来、今回の商品を含めて39品目が認証され、養老ならではの魅力ある商品として町内外に向けて広くPRされ、地域の活性化やイメージアップに貢献しています。

高校生と考える“まちづくり”



2月10日(火)に大垣養老高校において、町議会議員による実習様様の実地見学および生徒との意見交換会が行われました。未来を担っていく高校生と意見交換することで、若者の考えをまちづくりへと反映するとともに、行政や議会を身近に感じてもらう機会としました。

参加者は4つのグループに分かれ、生徒と議会から提起された各テーマについて意見交換しました。生徒からは自分たちが生活するうえで困っていることなどが、議員からは卒業後の進路や選挙・政治について、魅力あるまちづくりなどがテーマとして提起されました。高校生と議員がそれぞれの立場や視点から活発に意見を出し合い、学びある有意義な時間となりました。